

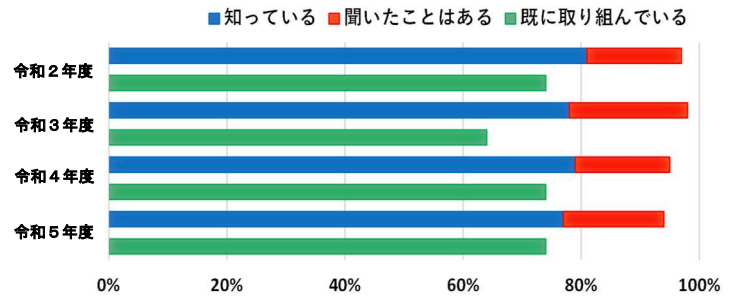
～となりの職場の勤務環境改善は？アンケート結果より その2～

高知県医療勤務環境改善支援センターでは、県内の病院及び有床診療所を対象に平成 28 年度からアンケート調査を実施し、過去のニュースレター（第 25 号）で4年分の結果をお知らせしました。今回は引き続いて行った令和 2 年度から令和 5 年度までのアンケート結果から、県内医療機関の勤務環境改善に向けた動きを眺めてみたいと思います。

■勤務環境改善の認知度と取組み状況（図1）

平成 26 年の医療法の改正で、医療機関の管理者は勤務環境の改善に努めなければならなくなったことを受けて、勤務環境改善の必要性についてアンケートを行ってきました。今回約 80%が勤務環境改善の必要性を「知っている」と回答、「聞いたことはある」を含めると 95%以上に周知されていることが分かりました。一方、勤務環境改善の進捗状況は「既に取り組んでいる」が 70%台で前回と大差ありません。その理由は、取り組まなければならない内容を管理者が具体的に理解されているものの、内容が多岐にわたり複雑化されているので躊躇されている施設ではスタートがきれないのでは、と想像します。

図1 勤務環境改善の認知度と取組み状況

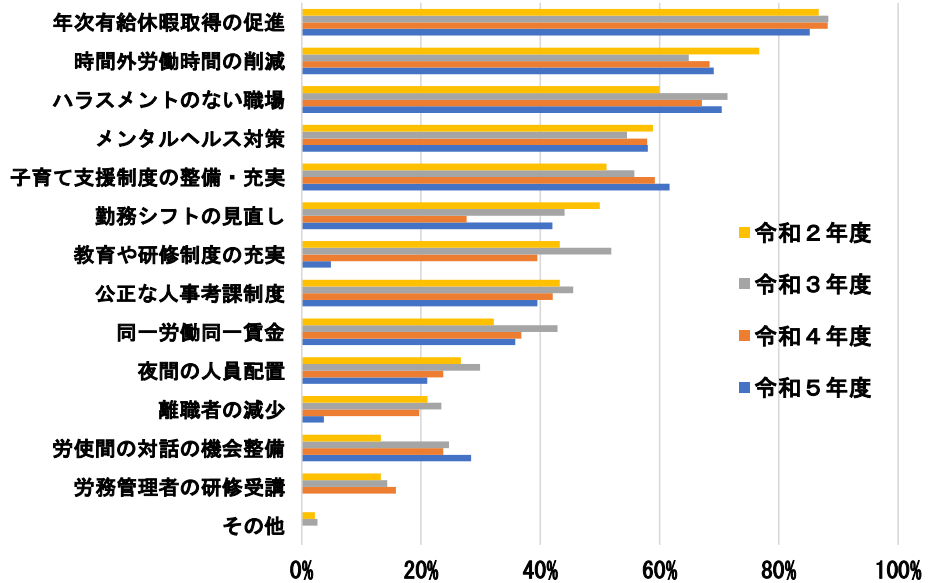


■勤務環境改善に取り組んでいる医療機関の取組み内容（複数選択可）（図2）

「既に取り組んでいる」の項目では、「年次有給休暇取得の促進」「時間外労働時間の削減」がいつも上位にランクインしていますが、「ハラスメントのない職場」や「子育て支援制度の整備・充実」の数字（%）が年々伸長しています（令和 4 年 4 月 1 日から育児休業制度の周知と取得の意向を確認することが義務づけられました）。

勤改センターのモデル支援事業（後述）もここ数年は「ハラスメント対策」が多く、それぞれの医療機関が抱えるデリケートな問題（メンタルヘルス対策等にも）に管理者自らが真摯に率先して取り組む姿勢が伺えました。

図2 医療機関の取組み内容



モデル支援事業について：勤改センターが一年を通して医療機関をご訪問し、それぞれの医療機関が抱える課題解決のお手伝いをします（月1回程度）。来年度も4月下旬から募集を始める予定です。ハラスメント問題だけでなく、各医療機関が取り組もうとしているテーマについて、お手伝いできることがあればぜひお申し込みください。過去の取組みについては勤改センターホームページに掲載されていますので参考にさせていただきます。



高知県イメージキャラクター「くるしおくん」

社会保険労務士や医業経営コンサルタントからのアドバイスも無料で受けられます！

高知県医療勤務環境改善支援センター

（事業受託者：一般社団法人 高知医療再生機構）

TEL 088-822-9910

平日 8:30 ~ 17:15 まで

ホームページ <https://www.kochi-mrr.or.jp/kinmukankyoukaizen>

E-mail kinmukankyoukaizen@kochi-mrr.or.jp



勤務環境のことならお任せ

